



「地産地消」をモットーに、
「新鮮・安心・安価」な農産物を提供します



あかし農業協同組合 (JAあかし)

所在地／明石市大久保町駅前1-7-4 TEL.078-934-5800 <https://www.ja-akashi.or.jp/>
創業／1992(平成4)年 従業員数／102名(2025年8月現在)

しよくばんがくかのう
職場見学可能です

私たちの仕事

農業協同組合(JA)は、農業に関わる人や地域のみなさんの暮らしをより良くするための助け合いの組織です。明石市は、まちの中で農業を行う「都市農業」地域です。私たちは、「食」と「農」を通じて、安心して豊かに暮らせる地域社会づくりのお手伝いをしています。また、地域のみなさんのお金など大事なものを守るお手伝いをするとともに、もしものときの備えまで、みなさんの暮らしに寄り添う活動を行っています。



▲本店

JAあかしで多く作られている農産物はなに？

一年中新鮮でおいしい野菜を作っています

JAと農家さんが協力しながら春夏秋冬、新鮮でおいしい野菜を作っています。特にお米、キャベツ、ブロッコリーを多く生産しており、他にも多くの農産物があります。



お米



3種類の「キヌヒカリ」「ひのひかり」「花美人」というお米があります。安全で質の高い米を安定的に供給しています。

キャベツ



明石市は、県下第3位の生産量を誇ります。春夏秋冬、その時々が一番味の良い品種をリレー栽培するなど、こだわりがあります。

ブロッコリー



一時は輸入品におされて栽培が少なくなりましたが、「安心の国産品」として生産が復活。明石産として根強い評価を得ています。



？ どんな取り組みをしているの？

農産物の地産地消を目指した取り組み

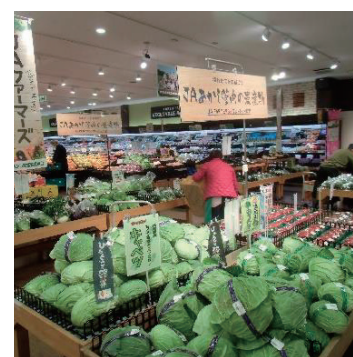
地元で作られた安全で新鮮な野菜を地域の人が食べる「地産地消」。それを実現するために「農産物直売所」を開いたり、「イベント体験」を行ったりしています。具体的な取り組みをみてみましょう。

農産物直売所では、採れたての新鮮野菜が並ぶ



毎朝、地元の農家さんが採れたての野菜を並べるので、新鮮そのものです。「採れたての新鮮な野菜を味わってもらいたい」という想いがつまっています。

たくさんの種類があり、選ぶ楽しさを提供



食卓に並ぶおなじみの野菜だけではなく、直売所では珍しい野菜や果物が並んでいる日もあります。毎日の食卓が、野菜や果物で楽しみになるような取り組みをしています。

料理教室や野菜収穫など体験できるイベントも実施



スイートコーンやさつまいもの収穫体験や、季節ごとの旬の野菜や魚介類を使用したアレンジメニューや各地の郷土料理を作る料理教室を実施しています。また、市内の学校へ、野菜の育て方を教える授業なども行っています。

はたら ひと こえ
働く人の声
仕事のやりがいを聞いてみました。



ほんてん けいざい か えいのうたんとう
本店 経済課(営農担当)
おおつき しんぺい
大槻 真平さん



ほんてん けいざい か やさい
本店 経済課(野菜ソムリエ)
いとう なつき
伊藤 菜月さん

よりよい野菜作りのお手伝い

野菜作りは天気や左右され計画通りに進まないことが多い難しい仕事です。苦労すること多いですが、農家さんの力になれるよう育て方をいろいろ試し、新鮮な野菜を届けられたときは、やりがいがあります。

農家さんとお客さまをつなぐ場所づくり

直売所には、農家さんがまごころを込めて作った野菜が揃っています。魅力を少しでもお客さまに伝えられるように売り場を工夫しています。お客さまから「この野菜やお米が好き」とお声がけいただいた時は嬉しいです。